

## 猿橋 康雄 滋賀医科大学整形外科

滋賀医科大学の猿橋康雄と申します。私は今まで主に脊椎外科の領域を勉強して参りました。脊椎脊髄疾患により手指の巧緻運動障害や歩行障害など重度のADL障害が起こった場合でも、手術と術後のリハビリにより良好なADLの改善が得られることをしばしば経験します。手術後のリハビリでは多職種のリハビリスタッフと連携して早期リハビリの共通のコンセプト(復職や在宅復帰を目標とすることなど)を持って治療にあたることの重要性を痛切に感じております。今後は、担当させていただいた患者様のADL・QOL向上に少しでも貢献できるように、リハビリ医療の研鑽に努めて参りたいと考えています。ご指導のほど、宜しくお願いいたします。

## 勝谷 将史 西宮協立リハビリテーション病院

この度、リハ科専門医として認定をいただき、新たな一步をふみだしました。

「リハビリテーションはQOLの医療だ」という言葉に感銘を受け、他科から転科し今年で5年目、現在は回復期リハを中心に多くのスタッフとともにチームで患者様の治療にあたり学びの多い日々を送っております。まだまだ知識も技術も未熟ですが質の高いリハビリテーションを患者様に提供できるよう、またリハ医療の普及、教育、発展にも力を入れていきたいと思っております。

「Adding years to life」ではなく「Adding life to years」を目指し患者様が充実した生活を送れるような全人的医療を目指します。

## 森田 昌宏 整形外科もりたクリニック

大学時代、障害者スポーツのボランティアをしており、その頃からリハビリテーション(以下リハ)医学に興味がありました。卒業6年間一般外科を学ぶ中でもリハに対する興味はなくなりませんでした。

平成13年、当時の関西労災病院リハ科部長、住田先生にその思いを伝えたと、快くリハ医としての道筋をつけてくださいました。大阪府立身体障害者福祉センター附属病院では勝山部長のもと高次脳機能障害について学び、大阪府済生会中津病院では回復期リハ病棟の専従医として北村部長から多くの症例について学ぶことができました。

大阪市北区で開業してこの5月で1年を迎えました。近隣の病院と病診連携をとり、退院後患者の外来リハや在宅診療に、毎日忙しく働いています。この地域で質の高いリハを提供するのが目下の夢です。

最後に、専門医試験に向けて勉強会を開催してくれた辻外科リハ病院の中土先生をはじめリハせん会のメンバーに感謝を申し上げます。

## 平成22年度総会のご報告

7月3日(土)に開催されました平成22年度総会におきまして、幹事/監事改選が行われ、11名の候補者が総会の承認を経て新幹事に決定いたしました。

また総会後に開催されました幹事会にて新代表幹事に田中一成先生(大阪医科大学)が推薦され、満場一致で承認されました。その後新代表幹事の指名により、中土保先生(辻外科リハビリテーション病院)と宮崎博子先生(京都桂病院)が副代表幹事に選出されました。

### 新代表幹事よりご挨拶

このたび平成22年度日本リハビリテーション医学会近畿地方会幹事会におきまして、代表幹事の職を仰せつかることになりました大阪医科大学の田中一成です。

身に余る光栄を感謝申し上げますとともに、近畿地方会の舵取りという重責に身の引き締まる思いです。浅学菲才の若輩者ではございますが粉骨砕身務めますので、どうぞご指導、ご支援をお願い申し上げます。